



発行者

北海道へき地・複式教育研究連盟
<http://dohekifuku.zenhekiren.net/index.html>

委員長 道下 誠

編集責任者 長澤 啓二

印刷所 山東印刷株式会社

夕張郡栗山町中央2丁目245 TEL 0123-72-1151

題字 書家 濱谷 彩鶴 (はまや さいかく) 氏

センス・オブ・ワンダー ～ これからのへき地教育 ～

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 道下 誠



令和7年度の本連盟の活動も、締めくくりの時期を迎えております。会員の皆様には、これまでの様々な取組へご協力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

まず、本連盟の一番の事業である「第74回全道へき地複式教育研究大会上川大会ファイナルステージ」につきましては、実行委員会の皆さん、会場校に関わった皆さんをはじめ、参集・オンラインを含めて延べ600名を超える多くの参加者の皆さんのおかげで、実りある大会となりました。改めてお礼を申し上げます。

また、北海道立教育研究所主催の研修講座「へき地・小規模校教育充実研修」には、募集定員の2倍にあたる受講希望者があるなど、へき地・複式教育に対するニーズや関心の高さがうかがわれました。本連盟も協力している立場から、大変うれしく思っているところです。

さて、皆さんは、アメリカの海洋生物学者レイチェル・カーソンの著書『センス・オブ・ワンダー』をご存じでしょうか。「センス・オブ・ワンダー」とは、子どもたちが持っている「神秘さや不思議さに目をみはる感性(=感じる力)」という意味です。そして、この本の中では「知ることは、感じることの半分も重要ではない」というように、単に知識を習得することよりも、感性(感

じる力)を磨いていくことの方が大切であるということも述べられています。

これからの子どもたちに求められる資質・能力の一つに「今までよりも、さらに深い学び」が挙げられています。しかし、その「深い学び」の根幹となってくるのは、この「感じる力」であると思います。美しい風景に心を動かされる体験、ふと見つけた小さな生き物や植物などに不思議を感じる瞬間、そして友だちとの対話の中で生まれる共感・・・、このような「感じる力」を育成していくことこそが、本当の「深い学び」につながっていくと言えるのではないのでしょうか。

このことは、豊かな自然に恵まれ、日常的に地域の文化や歴史等に触れながら生活しているへき地校で学ぶ子どもたちにとって、重要な意味を持つてくると思います。多くの学校では、さまざまな体験活動が行われていると思いますが、その体験活動が、単なる知識の習得のためだけで終わってしまっているとすれば、とてももったいないことだと思います。自分たちが生活している地域のよさを最大限に生かし、地域の人と深く関わっていく中で、子どもたちがこの「感じる力」を育てていくことこそが、これからのへき地教育に求められている姿であると思います。

結びになりますが、北海道教育委員会をはじめ多くの教育関係機関、そして、本連盟を支えてくださった会員の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

令和7年度 会 務 報 告

事務局長 前田 道弘

1 一般経過報告

【5月】

- 8日(木) 第6回常任委員会
 9日(金) 令和7年度定期総会(ライフオート札幌)
 研修会(講師;顧問 前委員長)
 新旧役員引継、第1回常任委員会
 第1回組織検討委員会
 10日(土) OB会総会
 (顧問・委員長・事務局)
 12日(月) 第1回企画委員会・第1回研究推進
 ~13日(火) 委員会(ライフオート札幌)
 28日(水) 全へき連理事会(顧問・研究部長・事務局長)
 29日(木) 全へき連春季総会(顧問・研究部長・事務局長)
 30日(金) 全へき連第1回理事会、第1回図書
 編纂委員会(顧問・研究部長・事務局長)

【6月】

- 5日(木) 上川大会1次案内発出
 ~6日(金) 上川大会挨拶まわり(委員長)
 13日(金) 道へき・複連情報第182発行
 17日(火) 関係機関への挨拶
 (道研:委員長・事務局長・総務部長)
 17日(火) 第2回常任委員会
 道小・道へき役員教育懇談会

【7月】

- 4日(金) 上川大会最終案内発出
 7日(月) 第2回企画委員会・第2回研究推進
 ~8日(火) 委員会(ライフオート札幌)
 10日(金) 道研講座へき地・小規模校教育充実
 研修①リモート
 27日(水) 上川大会再案内
 31日(木) 全へき連第2回理事会(~8/1)
 (東京:顧問・研究部長・事務局長)

【8月】

- 4日(月) 第2回組織検討委員会、第3回常任
 委員会(ライフオート札幌)

- 5日(火) 上川大会実行委員会⑤(委員長)
 6日(水) 道教委との各課懇談会(総務部長)
 25日(月) へき地・小規模校教育推進フォーラム

【9月】

- 2日(火) 石狩研究協議会(顧問、委員長)
 16日(火) 第4回常任委員会・第1回監査委員
 会・第3回研究推進委員会
 17日(水) 評議委員会
 第74回全道へき地複式教育研究大会
 上川大会ファイナルステージ
 基調報告・分散会
 18日(水) 同大会分科会(管内6会場)
 19日(金) 上川大会終了挨拶(委員長他)

【10月】

- 27日(月) 北教大遠隔フォーラム

【11月】

- 5日(水) 全へき連秋季総会・第3回理事会
 (長岡:顧問・委員長・総務部長・
 研究部長・事務局長・事務局次長)
 第74回全へき連研究大会新潟大会
 (顧問・委員長・総務部長・研究部長
 ・事務局長・事務局次長 他12名)
 14日(金) 道へき・複連情報第183号発行
 20日(水) 道研講座打合せ(顧問・委員長・総
 務部長・研究部長・事務局長)

【12月】

- 3日(水) 全へき連代表者会議・第4回理事会
 4日(木) 全へき連研究推進協議会(~5日)
 5日(金) 全へき連第2回図書編纂委員会
 (東京:顧問・研究部長・事務局長)
 10日(水) 道研講座へき地・小規模校教育充実
 研修②リモート(顧問・委員長・研
 究部長)
 18日(木) 道小校長会理事会④(総務部長)

【1月】

- 26日(月) 第5回常任委員会(ライフオート札
 幌)道研・道へき教育懇談会
 30日(金) 全へき連第3回図書編纂委員会
 (東京:事務局長)

【2月】

- 12日(木) 全へき連 第5回理事会

～13日(金) (東京:顧問・研究部長・事務局長)
 16日(月) 第3回企画委員会・第4回研究推進
 ～17日(火) 委員会(ライフオート札幌)
 20日(金) 道へき・複連情報第184号発行
 27日(金) 道小校長会理事会⑤(総務部長)
 第27回へき地小規模校教育推進フォー
 ーラム

【5月】予定

7日(木) 第6回常任委員会・第2回監査委員
 会
 8日(金) 令和8年度 北海道へき地・複式教
 育研究連盟定期総会
 第1回組織検討委員会
 第1回常任委員会
 関係機関挨拶回り(道教委ほか)

2 一般業務報告

昭和23年に結成された本連盟は、平成30年度
 に70年の節目の年を迎え、令和から新しい歴史を
 刻むこととなりました。これまで、地域に根ざした
 教育を探求するとともに、へき地校の教育条件整備
 を進め、確実に成果を重ねてきました。今年度より
 完全にアフターコロナに向けて動き出し、道へき・
 複連の活動も以前同様、会同を基本として開催する
 ことができます。

新たな形で行われた全道大会も二地区目となり、
 上川大会ファイナルステージでは、引き続きハイブ
 リッド型式でさらに充実、深化した実践発表、協議
 等が活発に行われました。

さらなる充実に向け、研究・組織・条件整備等の
 課題解決に向けて業務を推進してきましたので、そ
 の概要を申し上げ会務の報告といたします。

◇ 研究面では、第Ⅱ期第10次長期5か年研究
 推進計画の2年目として、第74回全道へき地
 複式教育研究大会上川大会ファイナルステージ
 を開催いたしました。

分散会については、今年度も会同を基本とし
 ながらオンライン配信を行い、協議等を進める
 ことができました。

分科会は前回大会同様上川管内6市町6校を
 会場として、参集及び各校の工夫を加えた複数
 画面等によるライブ配信、ワンモア配信とハイ
 ブリッド型で実施し、授業改善を進め、遠隔合

同授業を構築するなどの成果を得ました。

現地実行委員会、会場校等の多大な努力に感
 謝すると共に、上川大会の成果と課題を踏まえ、
 次年度開催される石狩大会ファーストステージ
 において、更なる成果をあげることが期待します。

◇ 組織面では、学校規模適正配置計画の推進や
 少子化による児童生徒数の減少から、各市町村
 においてへき地・小規模校の統廃合が進み、加
 盟校及び会員の減少が加速しています。今後も
 その傾向は変わらない状況です。

未加盟校への働きかけについては、各地区に
 道へき・複連の発足の趣旨や目的、加盟するこ
 とのメリット等についての啓発活動を行うなど
 の意識高揚に向けた取組を行いました。

◇ 教育条件整備については、3学級4定員や教
 頭未配置校の解消をはじめ、へき地複式校の抱
 える諸課題の解決のため、全へき連、道小、道
 へき複連OB会と連携しながら、要請活動を行
 いました。文教施策懇談会の各課懇談会では道
 教委に要望等を伝えました。

◇ 各関係機関との連携では、道研の講座「へき
 地・小規模校教育充実研修」について事前に道
 研、道教大、道へきの三者連携打合せを行い、
 実施日、講座内容を検討いたしました。7月に
 講義・演習、期間中に実践・演習・実習等を行
 ったのち、12月に実践交流を行う形での遠隔
 型研修を実施しました。

また、教育大学の実習に関しても、加盟校の
 ご協力により、へき地・小規模校での実施が拡
 大し、学生の実習希望者が増加しています。へ
 き地・小規模校のよさや大切さが再認識された
 取組となりました。

◇ 研究推進、組織確立、財政上の諸課題につい
 ては、組織検討委員会を設置して検討を重ねて
 きました。これからも連盟だけではなく各地区
 の課題も踏まえた論議を重ね、時代や社会環境
 の変化に対応した組織運営を目指していきたい
 と考えます。

3 情報関係活動経過報告（概要）

事務局次長 長澤 啓二

- 5月9日(金) 定期総会で「道へき・複連情報」
発行計画承認
道へき・複連情報第182号 原稿依頼
- 6月13日(金) 道へき・複連情報第182号 発行・発送
- 7月1日(火) 道へき・複連HP更新依頼
- 9月19日(金) 道へき・複連情報第183号 原稿依頼
- 11月25日(火) 道へき・複連情報第184号 原稿依頼
28日(金) 道へき・複連情報第183号 発行・発送
道へき・複連HP更新依頼
- 2月20日(金) 道へき・複連情報第184号 発行・発送
道へき・複連HP更新依頼

4 情報関係事業報告

(1) 情報関係

「道へき・複連情報（182～184号）を発行し、広報活動に努めました。182号では、定期総会特集、183号では第74回全道へき地複式教育研究大会上川大会ファイナルステージ特集、184号では令和7年度活動報告及び次年度の石狩大会ファーストステージについてのお知らせを掲載しました。今年度開催された上川大会ファイナルステージの推進に際しまして、ご尽力いただきました上川へき・複連の皆様をはじめ、情報提供や原稿執筆を賜りました多くの方々に、あらためて感謝とお礼を申し上げます。

〈各号の主な内容〉

【第182号】

- 令和7年度 道へき・複連定期総会特集号
- ・定期総会報告
 - ・役員・代議員研修会の概要
 - ・第74回全道へき地複式教育研究大会上川大会ファイナルステージの案内

【第183号】

- 第74回全道へき地複式教育研究大会上川大会ファイナルステージ特集号
- ・上川大会ファイナルステージの報告
 - ・第75回全道へき地複式教育研究大会石狩大会ファーストステージの案内

【第184号】

- 令和7年度 道へき・複連活動報告特集号
- ・今年度の活動報告
 - ・第75回全道へき地複式教育研究大会石狩大会

ファーストステージに向けて

〈道へき・複連および全へき連HPの内容〉

- 1 概要（要覧 管内割当）
- 2 長期研究推進計画
- 3 各地区研究主題
- 4 道へき・複連刊行物（道へき・複連情報研究部情報 他）
- 5 実践事例
- 6 全道大会
- 7 実践研究発表大会
- 8 全国大会
- 9 シンボルマーク
へき地教師の歌「太陽となろう」
- 10 北海道ブロック大会資料

(2) 「全国へき地教育研究連盟HP」関係

① スムーズな対応へのご協力

会員の皆様のご理解とご協力により、へき地・複式教育に係わる各種情報を掲載することができましたことに感謝申し上げます。

「全国へき地教育研究連盟HP」は、全へき連とへき地・複式校を結ぶ貴重なツールです。また、私たちの教育実践を発表し、幅広く交流できる手立てでもあります。今年度のHPの管理運営費用（1校300円）につきましては、道へき・複連の全へき連会計の中から一括して加盟校分を支払いました。

〈具体的な手立て〉

- 定期総会、評議委員会での周知
- 各地区の委員長または事務局長へHPに関するデータを送信
- 道へき・複連及び各地区事務局長との連携
- 必要に応じて原稿確認を各地区事務局等に送信

② 手続きの流れ（手続きは全てメール）

- ア 全へき→道へき：原稿割当
- イ 道へき→各地区：原稿割当
- ウ 各地区→道へき：執筆者報告
- エ 道へき→各地区：依頼文送信
- オ 各地区→執筆者：依頼文送信
- カ 執筆者→各地区：原稿提出
- キ 各地区→道へき：原稿提出
- ク 道へき⇄執筆者：原稿推敲
- ケ 道へき→全へき：原稿提出
- コ 全へきHP：原稿アップ

- ③ 原稿種別、依頼数、地区名、所属名、氏名
【令和7年9月～令和8年8月】
- 論評（教育長・教育局） 2本
＜渡島、十勝＞
 - ・渡島管内 渡島教育局教育支援課学校教育指導班 主査 中嶋 由佳 氏
 - ・十勝管内 鹿追町教育委員会 教育長 草野 礼行 氏
 - 山紫水明（校長） 4本
＜後志、胆振、日高、釧路＞
 - ・後志管内 赤井川村立赤井川小学校 校長 姉帯 隆文 氏
 - ・胆振管内 白老町立竹浦小学校 校長 小原 健 氏
 - ・日高管内 様似町立様似小学校 校長 佐藤 正寿 氏
 - ・釧路管内 標茶町立磯分内小学校 校長 沼田 卓二 氏
 - 事務室より（事務職員） 2本
＜オホーツク、十勝＞
 - ・オホーツク管内 北見市立豊地小学校 事務職員 森本 奈月 氏
 - ・十勝管内 士幌町立中士幌小学校 事務職員 原田 康平 氏
 - 保健室より（養護教諭） 0本
 - 研究実践（各校の実践） 8本
＜十勝、宗谷、留萌、上川、渡島、後志、空知、日高＞
 - ・十勝管内 浦幌町立上浦幌中央小学校 校長 阿部 英一 氏
 - ・宗谷管内 猿払村立浜鬼志別小学校 校長 佐藤 愛子 氏
 - ・留萌管内 初山別村立初山別小学校 教諭 酒井 亮輔 氏
 - ・上川管内 南富良野町立南富良野西小学校 教諭 阿部 純也 氏
 - ・渡島管内 森町立鷲ノ木小学校 校長 名生 達也 氏
 - ・後志管内 ニセコ町立近藤小学校 校長 山本 里香 氏
 - ・空知管内 岩見沢市立北村小学校 校長 小笠原寛和 氏
 - ・日高管内 えりも町立笛舞小学校 校長 鹿海 圭吾 氏
 - 若者の広場 2本
＜上川、根室＞
 - ・上川管内 下川町立下川小学校 教諭 最上 光輝 氏
 - ・根室管内 根室市立海星学校 教諭 平山 楓弥 氏
 - 学習指導案 7本
＜石狩、後志、檜山、上川、宗谷、十勝、オホーツク＞
 - ・石狩管内 石狩市立浜益小学校 教諭 吉弘 文人 氏
 - ・後志管内 余市町立登小学校 教諭 半田 光 氏
 - ・檜山管内 せたな町立久遠小学校 教諭 和田耕太郎 氏
 - ・上川管内 占冠村立占冠中央小学校 教諭 藤矢 颯太 氏
 - ・宗谷管内 猿払村立知来別小学校 教諭 菊池 大 氏
 - ・十勝管内 鹿追町立通明小学校 教諭 中田 和行 氏
 - ・オホーツク管内 雄武町立沢木小学校 校長 千葉 勝志 氏
- ※お忙しい中、ご協力ありがとうございました。
- ④ その他
- ア 原稿はA4サイズ1枚程度（1,200字程度、写真を含む）とし、研究実践については、制限を設けませんでした。
 - イ ワード文書で統一しました。道へき・複連及び全へき連での校正作業等がスムーズに行えました。
 - ウ 個人情報保護のため、指導案等では、児童の名前を伏せたり、個人が特定されない写真を使用したりして、原稿を作成していただきました。

令和7年度 総務部報告

総務部長 落合 利広

1 活動経過報告

- 5月9日(金) 令和7年度定期総会 第1回組織
検討委員会 第1回常任委員会
- 12日(月) 北海道小学校長会総会・研修会
- 13日(火) 北海道小学校長会第1回理事研
修会
北海道小学校長会分科会運営者
研修会全体会
- 14日(水) 北海道小学校長会第1回分科会
運営者研修会[オンライン]
- 6月17日(火) 挨拶回り(道研)、第2回常任委員会
- 19日(木) 全へき・道へき・組織検討委員
会アンケート発出
- 23日(月) 全道会長研修会参加(Web9:30～
12:00 協議Ⅱまとめ担当)
へき地・小規模校教育充実研修
の部会講師の打ち合わせ及び接
続テスト(14:15～ 道研とWebで)
- 7月1日(火) 全へき・道へき・組織検討委員
会アンケート報告への促しメー
ル発出(総務部長から、各地区
委員長・事務局長へ)
- 4日(金) 道小第2回理事・研修会(10:
30～14:00:Web)
道小根室大会第2回分科会運営
者研修会、全体会・分科会(14
:30～Web)
道小各課懇談会提言資料提出
- 10日(木) へき地・小規模校教育充実研修
の部会講師
- 11日(金) 全へき・道へき・組織検討委員
会アンケート締め切り日
- 14日(月) 全へき・道へき・組織検討委員
会アンケート報告への促しメー
ル発出
- 25日(金) 全へき調査報告、全へき総務部
担当へ全国へき地教育研究連盟
加盟校リンク情報収集報告、全
へき広報部事務局へ
- 8月4日(月) 道へき組織検討委員会13:30～
道へき第3回常任理事会15:30～
各課懇談会(15:00～第1分科
会:第2北海道通信ビル2階)
- 6日(水) 北海道小学校長会3回分科会運
営者研修会[オンライン]
- 25日(月) 北海道小学校長会第3回理事研
修会
- 9月11日(木) 北海道小学校長会第3回理事研
修会
第4回分科会運営者研修会
- 12日(金) 北海道小学校長会教育研究根室
大会(～13日)
- 16日(火) 第4回常任委員会
- 17日(水) 評議委員会 組織検討委員会中
間報告全道へき地複式教育研究
大会上川大会ファイナルステー
ジ(～18日)
- 12月10日(水) へき地・小規模校教育充実研修
- 18日(木) 北海道小学校長会第4回理事研
修会[オンライン]道へき・複連

の要望等報告

- 1月26日(月) 第5回常任委員会
- 2月27日(金) 北海道小学校長会第5回理事研
修会
- 5月7日(木) 第6回常任委員会
- 8日(金) 令和8年度定期総会 第1回組織
検討委員会 第1回常任委員会

2 要望要請活動(主な要望事項～抜粋)

- (1) 学校における働き方改革及び勤務に関する
環境のより一層の充実
- ① 3学級4定員、6学級8定員等、小規模校にお
ける定数改善及び専任教頭の全校配置
- ② 中学校における免許外教科担当の一層の縮減の
ための講師制度の拡大と人員確保による充実
- (2) へき地・複式校、小中併置校、小規模校に
おける更なる条件整備
- ① 統廃合における閉校加配、統合加配の確実な
配置
- ② 複式指導における子どもの学習環境の向上と
教員の負担軽減(・小学校1・2年の複式学
級解消・広域性や小規模校が多い状況に応じ
た、児童生徒数によらない、道独自の養護教
諭及び事務職員の配置・「変則複式学級」及び
「飛び級複式学級」の解消・理科、社会科、外国
語活動、外国語科における複式指導の解消)
- (3) 複式学級における教員の実践力向上のため
の支援
- ① 道教委による複式教育に関する指導資料の作成
- ② 各種研究機関等による研修の充実
- ③ 市町村教委のへき地・複式教育に関する研修
・研究活動に対する支援
- ④ 遠隔研修が実施可能な環境整備
- (4) へき地学校指定級見直しに向けた条件整備
- ① 各学校の地域性、実態に見合ったへき地学校
指定級の見直し
- ② 北海道の実態を反映した指定基準点数、調整
点の見直し
- ③ 市町村教委と学校との連携の充実及び要請の
場の設定
- (5) へき地教育振興法についての周知
- (6) 小学校の複式学級における学級編制基準引
き下げ及び中学校の複式学級解消のための教
職員定数の改善
- (7) へき地・複式校、小中併置校、小規模校へ
の教育実習拡大に向けた一層の支援
- (8) 教職員の専門的指導力を高めるための研修
費、旅費等の一層の充実
- ## 3 文教施策懇談会・各課懇談会等での提言
- (1) 令和7年8月6日に各課懇談会第1分科会
で提言
- (2) 北海道小学校長会第4回理事研修会での発
表～道へき・複連の活動内容・理念の発表、
要望の再確認
- ## 4 各種調査
- (1) 全へき連関係…「全へき連基本調査」、「加盟校
リンク情報収集調査」を実施。7月下旬に提出。
- (2) 組織検討委員会…組織検討委員会において
検討し、9月に中間報告実施、次年度総会で
最終報告。

令和7年度 研究部報告

研究部長 高橋 郁子

1 研究主題

「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」～児童生徒一人一人が他者となつがり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～

2 活動の重点

第Ⅱ期第10次長期5か年研究推進計画の第2年次としての確かな実践研究を行い、地域に根ざした魅力ある教育活動を推進する。

また、「第74回全道へき地複式教育研究大会 上川大会ファイナルステージ」の開催による実践記録の累積・収集を行う。

3 活動報告

(1) 共同研究体制の強化と実践研究の充実

① 企画委員会

- ・ 構成…研究部長、研究推進委員長、副委員長、各部長
- ・ 開催日…5/12、7/7、2/16
- ・ 内容…研究推進委員会の企画・推進及び全道大会の対応等の協議

② 研究推進委員会

- ・ 構成…研究部長、各地区研究推進委員
- ・ 開催日…5/12・13、7/7・8、9/16、2/16・17
- ・ 内容…全道大会への支援・協力、道へき・複連の共同研究の推進、参考資料の執筆・編集・発刊等

③ 各地区へき・複連研究活動への協力・各地区研究大会等への支援

④ 未加盟のへき地・複式の小学校や小規模中学校に対して、共同研究参加の呼びかけ

(2) 「第74回全道へき地複式教育研究大会 上川大会ファイナルステージ」の開催と共同運営

① 大会研究主題

「主体的・対話的に学び、ふるさとへの誇りと愛着を持った人間性豊かな子どもの育成」～児童生徒一人一人が他者となつがり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～

② 開催日…9/17・18

③ 大会内容

- ・ 基調報告…上川へき・複連
- ・ 分散会…日高・石狩・十勝地区より提言
- ・ 分科会…2市4町6会場

④ 協力内容

- ・ 分散会の企画運営、分科会での助言

⑤ 成果と課題

- ・ 分散会は、各地区・各校の特色を生かした3つの提言が行われた。参集して協議することの意義を改めて実感するとともに、オンライン参加者でのブレイクアウトルームにおける協議や参集者とオンライン参加者双方向の交流ができたことは大きな成果であった。
- ・ 分科会は、6会場で公開授業・研究協議を行い、各校の研究主題や、へき・複連の課題にそって、端末を活用した個別最適な学び・協働的な学びの姿が各校でみられた。遠隔で合同・交流授業を行う予定だった学校もあり、全へき連の協力のもと、各校工夫を凝らした授業（ライブ配信、オンデマンド配信）を全道・全国に発信できた。今後、自分たちでできる、持続可能な配信方法の工夫が課題である。

(3) 第Ⅱ期第10次長期5か年研究推進計画の実践と蓄積

① 各地区実践事例の収集

② 地区へき・複連教育実践研究資料の蓄積と還流

(4) 研究資料の編集と発行

① 道へき・複連「研究部情報」の発行

- ・ 6月…長期計画の推移、研究組織
- ・ 10月…全道大会の概要報告

② 調査結果と分析

- ・ 全道複式校の研究分野・課題
- ・ 全道複式校の学級編制・形態
- ・ 複式学級を有する学校の指導形態

③ HPへの掲載

- ・ 第Ⅱ期第10次長期5か年研究推進計画に基づく各地区実践事例

④ 全へき連への実践資料提供

- ・ 檜山地区…上ノ国町立河北小学校
- ・ オホーツク地区…湧別町立芭露学園

(5) 教育関係各機関・団体等との連携

① 北海道教育委員会・各教育局との連携強化

② 北海道立教育研究所、各地区教育研究所、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターとの連携

③ 全国へき地教育研究連盟との連携

- ・ 全へき連研究図書編纂委員会
- ・ 全へき連研究推進協議会
- ・ 「第74回全国へき地教育研究大会新潟大会」への協力と情報提供

令和7年度 財政部報告

財政部長 高橋 仁

1 令和7年度業務執行について

- (1) 会計業務については、事務局及び各部、各委員会、各地区へき・複連との連携を図り、計画に従って執行しております。
- (2) 道へき・複連会費については、加盟会員の減少により会費収入が減少いたしました。計画に従って納入いただきました。
- (3) 全へき連会計につきましては、負担いただいた分を滞りなく支出することができました。今後、次年度に向けて全へき連への免除申請を行って負担金を決定いたします。また、管理職負担金につきましても、各地区のご協力により入金され、全へき連への送金を終えておりますことをご報告いたします。
- (4) 刊行物につきましては、今年度、北海道へき地・複式教育研究連盟結成80周年記念誌の発行に向けて積み立てをしております。
- (5) 全へき連発行の令和7年度実践事例集「ふるさとへの誇り」の取組を進めることができました。各地区へき・複連においては発刊の趣旨をご理解賜り、ご協力いただいたことに感いたします。
- (6) 運営資金会計は拠出金が微減となりましたが納入された金額の中から規定通り全へき連への送金を終えております。各地区へき・複連のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

2 令和8年度の予算編成について

- (1) 予算編成における収入の見込みについては、学校の統廃合や学校規模の縮小により、今後も学校数・教職員数の減少等が予想され、今後も厳しい情勢となると思われます。予算編成の基礎資料として、2月中に各地区のへき・複連の加入校数・教員数を調査し、収支予定額を把握した上で予算を編成いたします。各地区の担当者の皆様にはお手数をおかけしますが、宜しくお願いいたします。
- (2) 令和8年度の一般会計については、諸活動の充実を努めるとともに、削減可能な項目を検討した上で予算編成を行い、令和8年度定期総会に提案いたします。
- (3) 現在執行中の旅費規程は会員の皆様にご協力いただき圧縮しつつ執行しております。
- (4) 全へき連会計及び運営資金会計は、納入される負担金等の範囲内で執行します。また、全へき連HPの運営費については限られた予算の中で対応していきたいと考えております。今後とも、管理職の皆様をはじめ教職員の皆様への納入拡大への働きかけや未加入校の加盟を促すようお願いいたします。
- (5) 刊行物会計については、令和8年度も、本道の実践が盛り込まれた全へき連の刊行物発行がなされます。各地区へき・複連においては、研究図書を購入として予算付けし、購読促進の取組をお願いいたします。

令和7年度 一般会計執行状況 (令和8年1月22日見込み)

【収入の部】

項目	令和7年度予算	決算見込み	増・減
会費	2,680,296	2,644,278	▲ 36,018
繰越金	1,536,279	1,536,279	0
繰入金	600,000	600,000	0
助成金	300,000	300,000	0
雑収入	30	4,185	4,155
合計	5,116,605	5,084,742	▲ 31,863

【支出の部】

項目	令和7年度予算	決算見込み	増・減
研究大会費	1,000,000	1,000,000	0
研究調査費	2,000,000	1,129,020	▲ 870,980
研成刊行費	242,000	158,400	▲ 83,600
事務局費	2,667,819	1,943,902	▲ 723,917
合計	5,909,819	4,231,322	▲ 1,678,497

学校数：187校 教員数：1273名

【差引残高(1/22見込)】 5,084,742円 - 4,231,322円 = 853,420円

第75回 全道へき地複式教育研究大会石狩大会 ファーストステージ開催について

石狩管内へき地・複式教育研究連盟 委員長 鳴海 孝則

1 はじめに

国際的な拠点である札幌市に隣接し、新千歳空港やエスコンフィールドなどを有し、都市と豊かな自然が調和した地域です。7市町村で構成され、都市部に人口が集中しています。近年、小中併置校の他にも義務教育学校化が進み、小規模校や複式学級を持つ学校は減少しています。

石狩管内へき地・複式教育研究連盟には、管内の全7市町村中、3市に加盟校がありますが、その数は8校となっています。石狩地区第Ⅱ期第10次長期5か年研究推進計画の研究主題や研究内容に則し、石狩管内教育研究会へき地複式教育部会が中心となって研究を進めています。

石狩大会ファーストステージの開催に向けては、令和7年7月に第1回実行委員会を開催し、本格的な準備活動がスタートしました。また、上川大会ファイナルステージの全体会において、本連盟委員長より大会の概要や各分科会、特色ある教育活動について紹介させていただきました。

2 石狩大会ファーストステージの概要

(1) 研究主題

「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」

～児童生徒一人一人が他者とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす、学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～

(2) 大会スローガン

「石狩の大地に根ざし、

未来を切り拓く力強い学びを」

(3) 開催期日

令和8年9月16日(水)・17日(木)

(4) 開催方法

会同参加を基本としながらも、オンライン参加も可能とする「ハイブリッド型」開催。

(5) 会場

① 全体会・分散会

札幌市『かでの2・7』

② 歓迎交流会

『ホテル ポールスター札幌』

③ 各分科会【授業公開・研究協議】

第1分科会 石狩市立厚田学園

第2分科会 江別市立北光小学校

第3分科会 千歳市立東小学校

3 おわりに

石狩大会は、連盟加盟校の減少により6分科会から3分科会に絞っての開催を承認いただきました。しかし、上川大会の成果と課題をしっかりと引き継ぎ、小規模ながらもさらなる発展を目指していくことが重要です。上川大会で実施されました会同参加者とオンライン参加者との双方向で協議する「ハイブリッド研究協議」など、新たに確立された方法を受け継ぎ、参加される皆様の学びがより深まり、充実した研究大会となるよう、関係者一同が力を結集して準備に取り組んでいます。ぜひ、多くの皆様のご参加を、お願い申し上げます。

北海道へき地・複式教育連盟HPがリニューアルされています

主な掲載内容

- 概要(要覧、管内割当)
- 長期研究推進計画
- 各地区研究主題
- 刊行物
(へき連情報・研究部情報等)
- 実践事例
- 全道大会
- 実践研究発表大会
- 全国大会
- シンボルマーク
へき地教師の歌
「太陽となろう」
- ブロック大会資料



各地区の実践事例や大会資料が数多く掲載されています。これまでの全道大会の集録など、大変見応えのあるデータとなっております。

上川大会ファイナルステージでの研究紀要や指導案をはじめ、当日行われた基調報告の資料や、配信等を含めた運営資料をまとめた記録集も掲載されました。是非ご活用下さい。

令和8年度 北海道立教育 研究所主催

研修講座 『へき地・小規模校 教育充実研修』

の現時点での概要情報です！

期日および主な内容(予定)

- (1) 令和8年7月上旬(期日未定)
遠隔型研修Ⅰ(講義、発表、演習)
↓ 【 職場実践 】
- (2) 令和8年12月中旬(期日未定)
遠隔型研修Ⅱ(実践交流・協議)

- 実施方法■ 全2回の研修を遠隔型研修により実施します。「遠隔型研修Ⅰ」終了後に「職場実践」や「道へき複石狩大会」への研修参加等を行い、「遠隔型研修Ⅱ」において実践内容の交流を行います。
- 会場■ 各受講者の勤務校(勤務校にいながらの受講が可能です。)
- 期日■ 確定しましたら、お知らせいたします。
- その他■ 詳細については、後日ご案内します。